

両 両 中 だ よ り

「心豊かに 自立する」 笑顔と貢献 ～チーム両城で一步前へ～

令和7年3月増刊号

ホームページアドレス: <https://www.kure-city.ed.jp/~ryoc/>



◇第78回卒業証書授与式 挙行



3月8日(土)、天候にも恵まれ、多くの来賓や保護者の方にご列席いただく中、本校78回目の卒業証書授与式を行いました。



国歌・呉市歌斉唱の後、卒業生一人一人が担任の呼名を受けて返事をし、壇上で校長から卒業証書の授与堂々とした立ち振る舞いでした。

次のステージへさらなる一步を踏み出すに当たり、校長は式辞の中で、松下電器(現パナソニック)創業者 松下幸之助や映画俳優・監督 チャールズ・チャップリンの言葉を引用し、高い志と意欲をもち、決してあきらめずに挑戦や努力を続けること、また自らの目標や課題について探究して発展させ、将来の自分の生き方を求め、夢の実現につなげていくこと、「学びと挑戦」の人生を送ることを期待する言葉を送りました。

さらには呉市教育委員会告辞、呉市長(代理)、PTA会長からそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

その後、在校生の送辞を受け、答辞を述べました(裏面に全文を紹介しています)。答辞は卒業生代表(前生徒会長)、3年前真新しい制服に身を包んで本校の正門をくぐった日からの幾つもの出来事やその時々感じたことを思い出させてくれたり、温かく見守ってくださった地域の方と一緒に学校生活を送った在校生・我々教職員、毎日当たり前のように支えてもらった家族への感謝の言葉、さらに同級生へは今日までのお礼とあわせ、合唱コンクール課題曲の歌詞の一部「飛び立った先でそれぞれ得るもの いくつか語らおう 話そう 交換しよう」を引用し、再会を誓ったりしました。



「仰げば尊し」に続いて最後に「校歌」斉唱、PTA会長が祝辞の中でおっしゃった1番の歌詞「旭日ごとく燦然と輝く」ことができるよう、未来への自分のメッセージとして高らかに歌い上げ

卒業証書授与式を閉じました。

式後、来賓や地域の方から「感動的な卒業式だった」「歌、動き、態度どれも素晴らしかった」など、お褒めの言葉をたくさんいただきました。

在校生退場の後、卒業生が体育館に戻ってきました。式の余韻が残る中、保護者の方もご覧いただき、2クラス合同での“最後の学活”です。



まずは義務教育修了にあたり、生徒たちが15年間の思いをしたためた手紙を、感謝の言葉を添えて保護者に渡しました。続いて生徒が一人ずつ順番に仲間

や家族、教職員へのメッセージを伝えました。さすが「自己を認識し 自分の人生を選択し 表現する力」を身に付けてきた卒業生、涙ながらに…という生徒もたくさんいましたが、堂々と自分の言葉で述べることができました。1人が終わるたびに拍手が起こり、お互いに支え合い、認め合う雰囲気はこの日も変わりませんでした。さらに、関わりの深かった教員からも言葉を送り、3年生を送る会とは別バージョンでの3年間の振り返り(写真のスライドショー)。最後の記念撮影は最高の笑顔、本当に“美しい”表情でしたよ。



卒業生53名のこれまでの成長に関わられたすべての皆様、おめでとうございます。そして、ありがとうございました。卒業生のみなさんの前途に幸多からんことを心から願っています!



★ 卒業までのカウントダウン ★

広島県公立高入試 一次選抜が終わり、卒業証書授与式を行う 3/3(月)の週の様子について、3年生を中心に紹介します。



あと5日(3/3) 調理実習



あと4日(3/4) 卒業アルバム書き



あと4日(3/4) 大掃除



あと4日(3/4) 最後の授業(体育)



あと3日(3/5) 最後の授業(理科)



あと3日(3/5) 最後の給食



あと3日(3/5) 最後の縦割り掃除



あと2日(3/6) 同窓会入会式・記念品贈呈式



あと2日(3/6) 表彰伝達



あと1日(3/7) 前日準備

◆大会・コンクール等の主な結果

令和6年度広島県学校安全表彰

呉市立両城中学校

第64回音戸一周駅伝大会

中学の部 第1位

呉市立両城中学校

全国映画感想文コンクール2024

優秀団体賞

呉市立両城中学校

広島県中学校体育連盟表彰

体育賞B

久田 祐也(3年)

呉市陸上競技協会表彰(呉市中学ランキング)

記録賞	安喜 心康(3年)	走高跳	第5位
		砲丸投	第4位
		400MR	第9位
	市川 紘士(3年)	走幅跳	第10位
	久田 祐也(3年)	400M	第2位
		800M	第1位
		1500M	第2位
		3000M	第2位
	中川 陽翔(3年)	走高跳	第2位
		砲丸投	第2位
	平原 凜太郎(3年)	400M	第3位
		800M	第3位
		1500M	第6位
		3000M	第5位

くれ・チャレンジマッチ・スタジアム

8の字とび	第7位	呉市立両城中学校	1年1組
	第8位	呉市立両城中学校	1年2組

◇中国新聞「ヤングスポット」

自己表現力を育てる取組の一つとして自分の思いや考えを文章で表現し、中国新聞「ヤングスポット」に投稿しています。

今年度は次の生徒の作品が掲載され(2月28日現在)、校長室の前に掲示しています。文章力や情報を発信する力を高める取組を継続し「INPUTからINTAKE, OUTPUT」へ今後も挑戦していきます。

※「ヤングスポット」：意見や主張(世の中について感じる事、身の回りの出来事など)を発信する“子ども投書欄”(430字程度)



No	掲載日	年	氏名	タイトル
1	4月29日	3	竹中 奏太郎	自己表現の力を磨きたい
2	5月11日	3	田中 奏	新たな自分へ変わる目標
3	6月3日	3	岡田 鮎美	長縄跳び 心一つにベスト
4	7月1日	3	森田 健太	生徒会 児童向け防災授業
5	7月28日	3	中野 豪心	防災授業の経験を生かす
6	8月17日	2	田島 楓花	防災への備えは日頃から
7	9月8日	1	蔣 易彤	これからも多くの学びを
8	9月11日	3	石橋 よつば	スマホとうまく付き合う
9	9月19日	1	北島 音和	身をもって協力の大切さ
10	10月5日	3	高井 寧々	認知症学び 思い出大切に
11	10月17日	2	杉原 ほなみ	相手思い行動できる人に
12	11月4日	1	岩畔 和花	事前の計画の大事さ知る
13	11月16日	1	都甲 暁仁	空手大会で優勝 実感湧く
14	12月19日	3	小島 夢祈	人生プラン 選択肢増やす
15	1月6日	2	小松 颯	栗林投手の教え 挑戦大切
16	1月27日	2	神田 奈那	公衆電話 もしもの備えに
17	1月29日	3	相澤 陽太	自分自身の可能性広げる
18	2月9日	2	山本 綺華	外国人を受け入れるには
19	2月19日	2	彦野 莉乃	誰かに勇気を与える人に

◇第78回卒業証書授与式 卒業生代表「答辞」

桜の花のつぼみが膨らみ始め、春の訪れが感じられる季節となりました。本日は私たちのために、素晴らしい式典を挙行してくださり、ありがとうございます。また、ご多忙の中、出席して下さったご来賓の皆様、保護者の皆様に、卒業生一同、心よりお礼申し上げます。

両城中学校の先生方や同級生と会うのが今日で最後になり、お別れしなければならないということにまだ実感が持てません。

正門をくぐるのも、この制服を着るのも、坂を上って息を切らしながら学校に登校するのも、今日が最後になると思うと、寂しく、感慨深くなります。

振り返ると、中学校生活の3年間はあっという間に過ぎていきました。3年前、真新しい制服に身を包み、正門をくぐったあの日が、まだ昨日のように感じられます。小学生のときの友達と同じクラスだといいなと思い、ドキドキしながら見たクラス分け、たくさんの人がいて緊張した入学式。満開の桜の木の下で撮ったクラス写真。入学初日でも印象に残ることがたくさんありました。仲間とうまくやっていけるのか、新しい環境に慣れるだろうかという不安があった4月。1か月も経つと、敬語で話していた仲間とも、いつの間にか親しく話せるようになっていました。

そんな私たちの中学校1年生の生活には、一つの大きな問題がありました。それは新型コロナウイルスです。マスク越しの会話や昼食時に話せない、体育大会や文化活動発表会など青春の1ページとなるような行事の規模が縮小されました。何度もコロナによって悔しい思いをしてきました。しかし、私たちの良いところである仲の良さや元気さで、「残念だったね」と励まし合い、乗り切ることができました。

2年生からはコロナウイルスの規制が弱まり、学校行事も本格的なものになりました。

雨の中行われた体育大会。雨に濡れて寒いということもありましたが、持ち前の明るさ、元気さで乗り越え、みんなで「楽しかったね」と言い合える体育大会になりました。1位になれるように走る順番をチームで考えたりレー。抜いたり、抜

かれたり、それを見て全力で応援し、盛り上がりました。ムカデ競争では、「1、2…」と声を掛け合い、転げないように息を合わせて競技に取り組みました。

初めて全校生徒が集まった文化活動発表会。昨年までリモートで見ていた各クラスや音楽部、英語暗唱の発表など、すべてを体育館で、その場で見ることができました。合唱練習では、パートごとに分かれて練習しました。合唱コンクール本番では、全校生徒の前で歌うため緊張して声が出ないこともありましたが、これも一つの思い出です。

バスで行った修学旅行。「Enjoy study travel」を目標に京都、大阪に行きました。足が痛くなったけれど、心を落ち着けることができた座禅体験、班別自主研修では、自分たちで行きたいところを決め、タクシーに乗って行きました。京都と広島の共通点、相違点を見つけることができました。自分たちが行った場所だけでなく、友達と話す中でも、京都の良いところや、広島と違うところを知るなど、新たな発見がありました。

みんなで楽しんだUSJ。強風が吹く寒い中でも、友達と一緒に回ることができ、最高の思い出になりました。それだけでなく、ホテルやバスなど何気ない場面でも、普段見ることのない、友達の良いところを見ることができました。このメンバーで行った最初で最後の旅行。いつまでも記憶に残ると思います。

初めておこなった韓国との英語交流。タブレットを活用し、資料や原稿を作りました。普段話すことのない英語での交流は、相手の言っていることが分からなくて、戸惑ってしまうこともありましたが、海外の人と会話することができたこと、今まで学んできたことが生かされ、英語の勉強を必死にやって良かったと思いました。

最高学年となった3年生。すべての行事が最後になりました。体育大会では、練習の段階からどうすれば勝てるのか、どうすればみんなで盛り上げられる体育大会にすることができるのかを常に考えていました。当日は大きな声を出し、学級旗を振って応援し、それぞれの全力を出し切り、最高の体育大会にすることができました。

文化活動発表会では、グループに分かれて3年間学んだことを発表しました。劇をして会場を盛り上げたグループなど、それぞれ個性が出ていました。発表を聞いて、3年間でたくさんのことを

学んだのだなと思いました。

合唱コンクールでは、1組も2組も、アンジェラアキさんの「手紙 拝啓15の君へ」を歌いました。同じ曲でも歌に込める思いやスローガンは違い、クラスによって違う歌に聞こえるほど違いが出ていました。

私たちが充実した学校生活を送りながらここまで成長できたのは、先生方、在校生の皆さん、地域の皆様、家族のおかげです。

先生方、いついかなるときも、私たちのそばにいて寄り添ってくださいました。時に厳しく、時に優しく、私たちを指導してくださり、悩みや問題があったときには一緒に向き合ってくださいました。どんなに忙しくても、部活動や生徒会活動など熱心に指導してくださいました。本当にありがとうございました。

在校生の皆さん、学校行事や部活動を通して、一緒に学校生活を送れたこと、両城中学校を盛り上げてくれたことに感謝しています。次は皆さんが、両城中学校の良き伝統を受け継ぎ、発展させていってください。

地域の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、私たちの登校を見守ってくださいました。毎朝の「おはよう」という挨拶で、悩んでいたことも吹き飛び、心が温くなりました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

そして、15年間、毎日私たちのことを支えてくれた家族。普段は気恥ずかしくて言えないので、この場を借りて感謝を伝えたいと思います。今まで数多くの心配と迷惑をかけてきました。しかし、どんなことがあっても、私たちに温かい愛情を注いでくれました。炊事、洗濯、料理など、当たり前のように大変な家事を、毎日休まずしてくれました。2年生までは毎朝早く起きて、お弁当を作ってくれました。

家族がいなければどうなっていたでしょう。簡単な言葉では表せないくらい感謝しています。こ

れからも迷惑をかけることや、支えてもらうことがあると思いますが、よろしくお願いします。

同級生の皆さん、私たちは、明るさと元気を活かし、全員で協力しながら、学校生活を送ってきました。クラスや男女関係なく助け合ってきました。いつも一緒にいて当たり前だと思っていた友達。しかし、「バイバイ、また明日」と言葉を交わすのも、会うのも、今日で最後になるかもしれません。同級生の皆さん、今日までありがとうございました。みんなの明るさに、何度救われたことでしょうか。落ち込んでいたときは励ましてくれ、困っているときは、助けてくれましたね。ありふれた時間が楽しく思えたのは、みんなと一緒に学校生活を送れたからです。勉強やスポーツに力を入れていた、この学年のみんなといたから、頑張ることができました。

「飛び立った先でそれぞれ得るものいつか語らおう、話そう、交換しよう」合唱コンクールの課題曲「僕らはいきものだから」の歌詞です。いつかこの歌詞のように、再会し、話せると信じています。

これから私たちは、自分たちの決めた進路に向かって、進んでいきます。人生という果てしない旅を続けていきます。挫折するときもあるかもしれませんが、そんなときは中学校生活や友達を思い出し、乗り越えていきます。

まだまだ話したいことはたくさんありますが、お別れのときがきました。今まで本当にありがとうございました。私たち53名は、心の中에서도輝いている思い出とともに、この両城中学校を卒業します。

最後になりましたが、本日、ご列席くださいました皆様の、ご多幸とご健康、今後の両城中学校の更なる飛躍をお祈りして、答辞といたします。

令和7年3月8日

卒業生代表 市川 紘士

学校相談ダイヤル 体罰、セクハラ・性暴力、その他の相談に応じます。相談日は毎月

第3火曜日ですが、相談したいことがあれば、いつでもこの窓口を利用してください。

【担当】教頭、青野（教務主任）、前原（生徒指導主事）、竹下（保健主事・養護教諭）

【学校電話番号】0823-21-4661 【相談場所】相談室、保健室等

